

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	2 良好な水と緑の環境を創出する	施策名	① 快適な河川環境の創出
------	--------------------	----------------	------------------	-----	--------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率									
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23									
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し									
◆溢水被害の早期解消と、治水機能を高め、自然環境に配慮した河川整備事業を推進している。 ◆市民協働による河川環境の保全のための河川愛護活動を促進している。 ◆市民の河川愛護意識の向上のための河川環境基金事業を実施している。	◆施策を構成する事務事業については、河川整備を計画的に進めるとともに、市民参加による河川愛護活動や河川環境基金を活用した事業により、良好な河川環境と市民の河川愛護精神の向上に十分効果を上げている。 ⇒施策指標については、河川整備率が計画どおり着実に達成できており、目標年次には目標値を達成する見込みである。	100.3%	自然生態系などに配慮して整備している河川の整備率	%	/	54.7	55.1	56.0	56.9	57.8	100.3%									
					54.3	55.4	56.9	57.4	58.0	59.0	102.1%									
課題 ◆都市化の進展と昨今の異常気象により、依然として豪雨時の溢水被害が発生していることから、溢水被害の早期解消を図る必要がある。 ◆厳しい財政状況の中、本市の財政負担を軽減するため、国県の交付金を有効活用し、河川整備事業を進める必要がある。 ◆人口減少社会の到来や高齢社会の進展により、河川愛護活動にかかるメンバー数の減少や高齢化が懸念される。					/															
												市民意識調査(重要度・満足度)	重要度		H20	H21	H22	H23		%
													満足度		69.9	67.5	66.7	70.5		%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
河川整備事業			◆流域の安全性を確保するため、依然として豪雨時等に溢水被害が発生している奈坪川、越戸川、新川等の河川整備を計画的に推進できている。また、御用川については、平成23年度は補助決定されなかったことや、用地取得の難航により目標を達成できていないことから、地元住民や地権者の理解を得ながら、用地取得を推進する必要がある。	◆引き続き、事業の優先化、重点化を図りながら、溢水被害の早期解消、治水機能の向上、自然環境に配慮した河川整備を推進していく。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針	
						H20	H21	H22	H23	H24				
						実績	実績	実績	実績	実績				
1	都市基盤河川奈坪川整備事業	流域に居住する住民及び市民	H20	流入立抗整備率	%	56	32	12			A	継続	市民生活の安全確保のため、一級河川奈坪川について、溢水被害の早期解消を図るとともに、治水機能を高め、自然環境に配慮した河川整備を推進していく。	
				流出立抗整備率	%	5	62	33		83				17
				トンネル整備率	%			66	34	42				37
2	準用河川整備事業	流域に居住する住民及び市民	S50	河川整備延長	m	428	573	435	425	578	A	継続	事業の必要性について補助要望するとともに、引き続き市民生活の安全確保のため、準用河川について、溢水被害の早期解消を図るとともに、治水機能を高め、自然環境に配慮した河川整備を推進していく。	
						690	1,492	1,472	376					
3	都市基盤河川御用川整備事業	流域に居住する住民及び市民	H3	用地取得面積	㎡	2,630	330	400	800	800	A	継続	事業の必要性について補助要望するとともに、引き続き市民生活の安全確保のため、一級河川御用川について、溢水被害の早期解消を図るとともに、治水機能を高め、自然環境に配慮した河川整備を推進していく。	
						2,630	0	162	322					

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に 対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績				
4	普通河川整備事業	流域に居住する住民及び市民	S47	河川整備延長	m	270	479	275	80	240	A	継続	市民生活の安全確保のため、普通河川について、洪水被害の早期解消を図るとともに、治水機能を高め、自然環境に配慮した河川整備を推進していく。
						336	171	51	251				
5	河川愛護活動事業補助金	所属する河川愛護グループ	S45	河川愛護グループ新規設置数	G		2	1	1	1	A	継続	河川愛護活動について、さらに多くの市民の理解や参加を促すため、河川愛護グループの活動状況などPRに努める。
				1	0	1	2						
			美化清掃区間河川延長	m	80,000	88,000	68,000	68,500	69,000				
					87,513	88,768	70,828	68,500					
6	河川環境基金事業	市内全域の市民	H3	河川絵画板設置枚数	枚	14	15	15	15	15	B	見直し	市民の河川への関心と愛着を高めるための河川絵画板事業については、市民が直接的に河川愛護活動につながる事業とする。とともに、河川環境学習については、小学生のみならず広く市民が学習できる事業となるよう見直しを図る。
				16	15	15	15						
			河川環境学習参加者数	人	200	200	200	200	200				
					233	175	285	73					
7	グラウンドワーク活動センター指定管理	地域住民、企業	H18	利用者数	人	5,800	6,000	6,000	6,000	6,000	B	継続	環境と調和のとれた快適な河川環境を創出するとともに、市民の自然環境への関心が高まるよう、引き続き、事業を推進する。
						6,350	9,007	10,726	9,313				